

## 【6】小佐世保地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

### “お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい小佐世保のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

### 第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！  
～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日程：平成19年12月15日（土）

内容：●お茶の間クイズ  
●地域マップづくり  
●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは小佐世保地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う小佐世保地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



#### 【よかところ】

- 四ヶ町などに近く買い物が便利
- 夜景がきれい
- 子どもたちがよくあいさつする

#### 【気になるところ】

- 坂や階段が多い
- のら猫が多くふんなどが目立つ
- ごみのポイ捨てが多い

### \\ 皆さんも小佐世保地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう！ //

**問1** 旭中学校には、創立30周年を記念して建立された石碑があり、「〇〇に のぼる旭の如くあれ」と生徒に期待する理想が彫られています。〇〇は何でしょうか？

- ① 烏帽子岳      ② 富士山      ③ 夏山

**問2** 須佐神社の神殿は、間口3間、奥行き6間余りの天然の洞窟になっていますが、平戸八景で紹介される際のこの洞窟の呼び名は、何でしょうか？

- ① 高巖      ② 巖屋宮      ③ 眼鏡岩

**問3** 江戸時代に、平戸往還を通過していた参勤交代の大名行列は、1日にどれくらいの距離を移動していたのでしょうか？

- ① 約30km      ② 約50km      ③ 100km



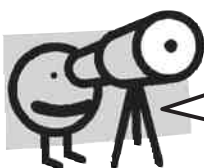
※答えはP8の下にあります。

## 第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！  
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成20年1月26日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム  
●気になり具合診断  
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

### 【問題】

ごみのポイ捨てや不法投棄が多い



### 【“みんなにできること”の意見】

- 井戸端会議などで話題にする
- 表示物で注意を呼びかける

## 参加した皆さんの感想から

◎いろいろな世代の人たちと話し合いながら、地域のことについて考えることができた。様々な視点があることに気づいた。

◎いろいろなアイデアが出されて、地域の力を高めるきっかけになった。この会を通して前進していければいいと思う。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



**まずは、小佐世保地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。**

◎この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、次のページの“みんなの力でできること”をぜひ実行していきましょう！◎

